

ひがしどおり

No. 3 9

議会だより



平成24年東通村消防団出初式：纏振り演技（H24.1.7）

11月定例会

定例会の審議内容	2P
一般質問に1人登壇	3P
臨時会・全員協議会	4~5P
委員会の動き・視察研修等	5~7P
議会の動き	8P

11
A

審議內容

条例

○東通村一般職の職員の給与に関する条例改正

○わが村の先生制度特区に係る東通村費負担教職員の給与に関する条例改正

二案件は、平成二十三年度人事院勧告および青森県人事委員会勧告に基づき、職員の給料月額を改正するものです。

○東通村暴力団排除条例

暴力団排除を推進し、もつて村民生活の安全及び平穏の確保並びに村経済の健全な発展に寄与することを目的に条例を制定するものです。

○東通村職員定数条例改正

平成二十四年三月三十一日に幼稚園保育所、児童館の廃止に伴い、東通村職員の定数を改正するものです。

補正予算

改正 ○ 東通村立学校設置条例改正
割額税額の改正に伴い、特定世帯平等割額を明記するもの
です。

○ 東通村立児童館設置条例廃止
三案件は、平成二十四年四月一日「こども園ひがしどおり」開設に伴い、幼稚園、保育所、児童館を廃止するもの



○平成二十三年度東通村後期高齢者医療特別会計補正予算

○平成二十三年度東通林業期高齢者医療特別会計補正予算

契約

○岩屋地区漁村再生工事請負契約の変更について

○東通村過疎地域自立促進計 画の変更について

その他の

○(仮)保幼園ひがしどおり建築工事請負契約の変更について
適切な建築設備の整備のため、金属製建具の仕様を変更し、
変更契約をするものです。

○青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について

議員提出

〇平成二十三年度東通村水道事業会計補正予算（第二号）

(仮)保幼園ひがしどおり施設管理備品購入については、十一月二十一日、指名競争入札に付したところ、四千二百五円をもつて株式会社東京堂保育・教材備品購入については、一千九十二万円をもつて株式会社高橋教材、樂器購入については、五百八十八万円をもつて株式会社東京堂にそれぞれ落札したので、本契約を締結するものです。

○発議第九号 国民健康保険の国庫負担率の大幅引上げ等を求める意見書
○発議第十号 高齢者が安心して受けられる介護保障制度の実現を求める意見書
以上二意見書は、内閣総理大臣はじめ関係大臣へ提出。

開かれました。

定例会には村長より、条例案件八件、補正予算案件四件、契約案件五件、その他の案件二件、合計十九案件が提出され、全日程、全議案が原案どおり可決されました。

開会初日は、会議録署名議員の指名、議会運営委員長報告後に会期を決定。次に教育民生常任委員会報告後、村長より提出議案について提案理由の説明を求め、条例案件二件を審議。陳情二件は所管の委員会へ附託し、十一月二十六日から十二月七日まで議案熟考のため休会として散会。

八日は、川村隆議員による一般質問が行われ、続いて条例案件六件を審議。

九日は、補正予算案件四件、契約案件五件、その他の案件二件を審議し、陳情二件については所管の委員会報告後、議事日程を追加し、原発特別委員会報告、議員発議二件を審議後閉会。

一般質問

【川村議員】

東京電力東通原発一号機の工事再開見通しについて

東北電力東通原発一号機の再稼働について

【川村議員】

青森県原子力安全対策検証

委員会が県知事に提出された
安全対策は妥当との報告につ
いて、再稼働に向けた村の今
後の動向は。

一月に工事が着工されたが、

元の理解の上で、政府が政治

稼動、建設工事再開について



川 村 隆 議 員

三月の福島第一原発事故後ストップされている東京電力東通原発一号機の工事再開の見通し、又、これに対する村としての動向は。

【村長】

青森県知事は、県内原子力施設の再稼働や工事の再開にあたり、当該委員会の検証結果を最大限に尊重するとともに、県議会での議論、県内各

界各層の意見等を踏まえつつ、県民の安全・安心を守つていい。対処すると伺っている。東北

電力一号機の再稼働にあたっては、東北電力より国に対し報告書を提出し、国や原子力安全委員会による確認を行つた後、青森県や当村などの地

レベルで判断することとなり、一方で、ストレステストの基礎となるバックチェックの評価も並行して進められることとなるが、現時点においては、国や事業者から、これらの具体的な見通しは示されていない。

長期的なエネルギー政策については、現状を十分に見極めにおいては、福島第一原発の事故の収束を最優先するとの観点から、本年四月に予定していた本格工事再開は見合わせることとし、現在も工事再開の見通しは示されていない。

村は、村内の各種団体より、東北電力一号機の定期検査と東北電力一号機の本格工事の見合わせが長期に及んだ場合、当村の産業や経済などに対し、非常に大きな影響を与える懸念があることから、早期の再稼動、建設工事再開について

般

質

問

定例会本会議
12月8日



第二回 臨時会

平成二十三年東通村議会第三回臨時会が十月十七日招集され、会期を一日とする日程で開催されました。臨時会には村長より条例案件二件、契約案件四件の案件が提出され原案どおり可決されました。

十月六日指名競争入札に付し、五億六千二百六十九万五千円をもつて清水建設株式会社東北支店に落札したので、本契約を締結するためのもの

全員協議会

★十一月二十五日(金)

○報告案件

○(仮) 東通村産地直接販売
施設等建設工事(電気設備)
請負契約について

条例

○東通村定住
支援基金条例

東通村民間活用住宅の意味合いと位置づけ、そして今後の管理経費の財源を計画的に確保するためのものです。

○東通村民間活用住宅条例改正

法律に基づき、仮称定住促進住宅の名称及び家賃等を追加するためのものです。

○(仮) 東通村産地直接販売
施設等建設工事(外構)請負

○(仮) 東通村産地直接販売
施設等建設工事(外構)請負
契約について

契約

をもつて株式会社橋本建設工業に落札したので、本契約を締結するためのものです。

清隆厚生会理事長・坂崎隆浩氏より挨拶及び「認定こども園・こども園開設準備状況について」と題し、施設・運営保育内容、開園までのスケジュール等、又、スクリーン映像を交え、資料に基づき詳細な説明がなされました。これに対し議員からは、職員採用について、障害児保育における看護師について、許可申請について等質問が出され、その都度詳細な説明が行われ、

ついて
村長挨拶後、東北電力（株）執行役員・東通原子力発電所・津幡所長並びに東京電力（株）東通原子力建設所・四方所長より挨拶及び東通原子力発電所の状況について詳細な説明がなされました。

説明がなされた。又、東通原子力発電所は、本年一月に着工しており、三月末で総合進捗率約十パーセントとなつていたが、今回の事故を踏まえ本格着工を見合させており、このようない状況の中、青森県原子力安全対策検証委員会報告要請に対する安全対策等について、青森県知事へ回答したとのことでした。

これを受け議員からは、防潮堤の構造について、原子力

このような状況の中、青森県原子力安全対策検証委員会報告要請に対する安全対策等について、青森県知事へ回答したとのことでした。

又、議会に対し、法人との正式な契約内容を早期に説明願うことを要望し閉会いたしました。

国の指示を受け、原子力発電所の裕度を調査する評価（ストレステスト）を実施していくとのことでした。又、青森

全員協議会・委員会の動き



損害賠償責任保険等について、質問・意見が出されました。その都度、詳細な説明がなされました。次に、今後の東通原子力発電所に係る東北一号機早期再稼動・東京一号機本格工事再開に伴う要望活動について協議がなされ、要望時期、要望先、要望項目等について、議長、原発特別委員長へ一任され、又、議員からは村の産業、経済の活性化を図る観点からも、早期の活動を要望し、閉会いたしました。

教育民生常任委員会

▼常任委員会 員会の動き

《十一月二十日（月）午前十時開会》

(一)「(仮)保幼園ひがしどおり」建築工事請負契約の変更について

(二)東通村立学校設置条例の一部を改正する条例、東通村保育所設置条例を廃止する条例、東通村立児童館設置条例を廃止する条例及び東通村職員定数条例の一部を改正する条例について

(三)「こども園ひがしどおり」の制服について

「保幼園ひがしどおり」の建築工事については、工事を進めているところであるが、保幼一元化施設である「認定こども園」は、文部科学省の所管する「幼稚園」としての教育施設と厚生労働省が所管する「保育所」としての保育施設の用途を併せ持つ複合施設成を行つており、こども園に



あることから、建築設計においても一重に配慮する必要があるとのことでした。このことから、村では経済性や安全性、使いやすさなど細やかに配慮しつつ、保幼一元化施設としての複合的な基準を適用して進めてきたところであり、最終的に、より安全性の高い建築確認許可用件に照らして検討してきた結果、金属製建具二十四箇所について、排煙設備を附加する等の仕様に変更して施行致したいとのことでした。次に、東通村立学校設置条例等の改廃について、来年四月、運営法人による「認定こども園」開設に伴い、三月三十一日付けで村立の幼稚園、児童館、保育所を廃止し、同時に幼稚園、児童館、保育所関係相当分の職員定数を削減するものであるとのことでした。次に、「こども園ひがしどおり」の制服について、慎重審議の結果、村当局の原案を了承致しました。

※ 国保国庫負担率の大幅引き上げ等の意見書提出を求める陳情書

《十一月二十五日（金）午前十一時二十分開会》

おいても、小学校就学前の衣服教育に資すると同時に、保幼、小、中の連帯感を持つて、こども園へ通園する誇りを醸成し、保護者負担の軽減を図るためにも、無償貸与により制服の導入を実施したいと資料に基づき詳細な説明がなされました。これを受け委員からは、施設廃止に伴う幼稚園等職員との交渉の進展について、来年度の村職員採用について、施設の今後の活用について、制服の費用等について質問・意見が出され、又、東通村職員定数条例改正案について、異論も出されました。が、その都度、村の詳細な説明がなされ、当委員会として終止符を打ち、社会保障としての国保制度の確立のために、国庫負担率を大幅に引き上げて、保険料を引き下げ、窓口負担を軽減し、誰もが安心してかかる医療保険制度にするべきとの観点から、本陳情書は採択すべきものと決した。

の要介護高齢者や認知症高齢者に、もたされた困難は介護保険制度の矛盾や限界を浮き彫りにした。ここから制度点検や見直しを進めなければならぬにも拘らず政府は、国らないにも拘らず政府は、国

の責任を縮小し、自治体に

「給付と負担の調整」を強要

する介護保険法改正を短時間

の審議で成立させました。こ

の改正は、介護を必要とする

高齢者・家族を困難なまま置

き去りにし、「住み慣れた地

域で、安心して老後を送りたい」という願いに背くもので、介護保障制度となるよう弾力ある運用を求めるべきとの観点から、本陳情書は採択すべきものと決した。



▼特別委員会

中心地整備促進特別委員会

『十月十一日（火）午前十時開会』

（一）（仮称）定住促進住宅につ

いて

（二）東通村民間活用住宅条例の一部を改正する条例につ

いて

（三）東通村定住促進及び子育て支援基金条例について

（四）東通村民間活用住宅条例の一部を改正する条例につ

いて

（五）東通村定住促進及び子育て支援基金条例について

（六）東通村民間活用住宅条例の一部を改正する条例につ

いて

（七）東通村民間活用住宅条例の一部を改正する条例につ

いて

（八）東通村民間活用住宅条例の一部を改正する条例につ

いて

（九）東通村民間活用住宅条例の一部を改正する条例につ

いて

（十）東通村民間活用住宅条例の一部を改正する条例につ

いて

賃に伴う村財政負担、他市町村の家賃の例などについて質問・意見が出され、その都度、村の詳細な説明がなされ、当委員会として慎重審議の結果、村当局の原案を全会一致のもと了承致しました。



原発特別委員会

『十二月六日（火）午前十時開会』

※東通原子力発電所の状況に

ついて

東北電力一号機の再稼動は、現時点において、国や事業者

から具体的な見通しは示されおらず、東京電力一号機についても、福島第一原発の事故から、現在も工事再開の見通しは示されていないとのことでした。このようない状況において、各種団体より、産業や経済に非常に大きな影響を与える懸念があるとの観点から、早期再稼動、建設工事再開について強い要望を受けている。村は、昭和四十年の村議会説教決議以来、村議会と共に、国や事業者との信頼関係のもと、一貫して原子力政策に全面的に協力してきており、今後の日本の長期的なエネルギー政策については、資源少国の中日本経済や生活を維持していくために、現時点においても原子力発電の必要性や重要性は変化するものではないと認識している。今後も、より一層安全確保を大前提として原子力発電所との共生による村づくりを進めて参りました。



視察研修等

《正副議長・事務局長研修会》

《都町村議会議員及び事務局職員合同研修会》

《全国市議会議長会基協定期総会》

去る、十月二十六日（水）

去る十一月十日（木）下北

去る十一月十七日（木）秋

青森県町村議会議長会主催による正副議長・事務局長研修会が開催されました。講師に山梨学院大学法学部教授・江藤俊昭氏を迎え、「住民自治の充実と議会改革の課題」と題し、講演をして頂きました。

郡町村議會議員及び事務局職員合同研修会が、風間浦村下風呂公民館において開催されました。講師に電源開発株式会社執行役員大間原子力建設所長・浦島彰人氏を迎え、「我が国電気事業の歴史とエネルギー政策」と題し、講演をして頂きました。

《知事を囲む行政懇談会》

去る十一月二日（水）青森

グランドホテルにおいて、青森県町村議会議長会による知事を囲む行政懇談会が開催されました。

懇談会では、各郡提出要望事項六件及び自由討議要望事項二件が提出され、知事及び担当部長等から詳細な回答・説明を頂きました。

《第55回町村議会議長全国大会》



演題
「我が国の電気事業の歴史とエネルギー政策」
講師
電源開発株式会社執行役員
大間原子力建設所長 浦島彰人

去る十一月二日（水）正午より、東京NHKホールにおいて、「真の分権型社会の実現を目指して」をメインスルーガンに第五十五回町村議会議長全国大会が開催されました。



去る十一月十七日（木）秋田市において、全国市議会議長会基協定期総会が開催されました。総会では、平成二十二年度事務報告・会務報告及び平成二十三年度収支予算百四十一万六千五百六円と平成二十三年度事業計画を承認。

《全国市議会議長会基協定期総会》

去る十一月十七日（木）秋田市において、全国市議会議長会基協定期総会が開催されました。総会では、平成二十二年度事務報告・会務報告及び平成二十三年度収支予算百四十一万六千五百六円と平成二十三年度事業計画を承認。

議会の動き



(仮)保幼園ひがしどおり建築工事視察



郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会

10月	5日	郡議長会議長行政視察研修（～7日）
	11日	中心地整備促進特別委員会
	17日	議会運営委員会・第3回臨時会
	26日	正副議長・事務局長研修会
	27日	全国原子力発電所立地市町村議会議長会役員会（～28日）
11月	2日	町村議会議長会「知事を囲む行政懇談会」
	10日	郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会
	16日	第55回町村議会議長全国大会
	17日	全国市議会議長会基地協議会東北部会定期総会（～18日）
	21日	教育民生常任委員会
	22日	議会運営委員会
12月	25日	第4回定例会招集・全員協議会・教育民生常任委員会
	6日	原発特別委員会
	8日	議会本会議
	9日	議会本会議・全員協議会

議会を監視するのは『あなた』です。

11月定例会の傍聴人は61人でした。

あなたも議会の傍聴をしてみませんか。

傍聴は村政を知る良い機会です。

定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。

臨時会は、必要に応じて開かれます。

詳しくは、議会事務局27-2111
(内線412・413)へお尋ねください。

議会傍聴

編集後記

平成二十三年十一月第四回定例会が十一月二十五日開会され、提出議案十九件、議員発議二件を議決。十二月九日閉会しました。
教育民生常任委員会に引き続き、産業建設常任委員会が十月から十二月までの議会の動きをまとめてみました。
今後も引き続き、議会の役割として、公正で、客観的な記事、地域住民に親しまれる、読みやすい、わかりやすい議会だよりづくりに努めますので、村民皆様の暖かいご指導、ご協力をお願ひ申し上げます。
次回は、総務企画常任委員会の担当です。

役割として、公正で、客観的な記事、地域住民に親しまれる、読みやすい、わかりやすい議会だよりづくりに努めますので、村民皆様の暖かいご指導、ご協力をお願ひ申し上げます。